

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日	5月 ~14日
カンピロバクター	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	13	17	5	11	11	15	14	7	16	6 (1)	25
病原性大腸菌	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	14	17	12	12	10	17	19	29	28	6 (1)	48
腸管出血性大腸菌	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	1	0	1	0	1	0	3	3	0	0	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	3	5	2	3	2	2	0	8	2	5 (1)	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	4	4	5	1	2	2	3	5	3	3	3
腸炎ビブリオ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第19週(5月8日~5月14日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	1		4		5	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	2	日本紅斑熱	2			1				1
五類	15	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1				1		
		百日咳	1				1			
		梅毒	12				7	1	4	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海野町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.23人の報告がありました。5月8日から感染症法上の5類感染症となり、患者の発生動向は定点把握に移行しました。感染症法上の位置付けが変わっても、手洗い、換気、状況に応じたマスクの着用などの対策は有効であることに変わりはありません。引き続き、一人一人が対策に取り組むことが大切です。

2 インフルエンザ

定点当たり3.69人の報告がありました。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

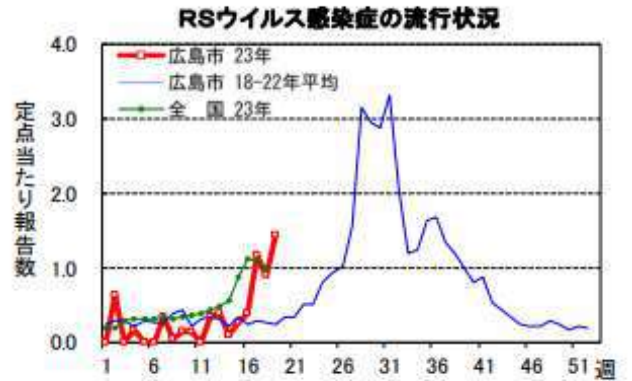
迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第19週 A型:37人、B型:0人

3 RSウイルス感染症

定点当たり1.42人の報告がありました。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

4 咽頭結膜熱

定点当たり0.83人と多い状況です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
インフル	インフルエンザ	129	3.69	0.15		小児科	ヘルパンギーナ	7	0.29	0.07		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	43	1.23				流行性耳下腺炎	-	-	0.09		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
小児科	RSウイルス感染症	34	1.42	0.24		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.10		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	20	0.83	0.44			流行性角結膜炎	9	1.13	0.25		横ばい	ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.75	1.09		基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
	感染性胃腸炎	114	4.75	5.07			無菌性髄膜炎	-	-	-			小児科定点数	24
	水痘	6	0.25	0.09			マイコプラズマ肺炎	-	-	-			眼科定点数	8
	手足口病	1	0.04	0.17			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			基幹定点数	7
	伝染性紅斑	-	-	0.10			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.26			(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)	
	突発性発しん	8	0.33	0.40										

前週(第18週)は、ゴールデンウィークの休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、今週(第19週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	46	20歳代・推定感染地域: 国外、40歳代、50歳代、70歳代、90歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	80歳代
5	梅毒	7	93	10歳代・1人、20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・1人
5	百日咳	1	1	60歳代